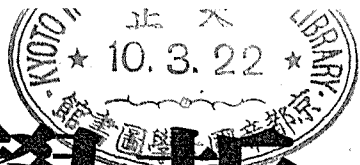


贈
呈



哲學研究

第六卷 第三册
第十六號

大正十年三月一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十年二月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

カントの永遠的平和論の半面……………

文學博士 朝永三十郎

兒童期に於ける精神發達の停滯現象に就いて……………

文學士 檜崎淺太郎

パウル・ナトルプ「ペスタロッチの理想主義」……………

を讀む(完結)……………文學士 長田新

合理性對非合理性の問題を通じて觀たる『極限概念の哲學』……………

法學博士 左右田喜一郎

彙報……………

新著紹介……………

京都市帝國大學文學部
京都哲學會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、每月一回研究会ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

書記

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士
波多野精一	西田幾多郎	朝永三十郎	千葉胤成	狩野直喜	米田庄太郎	高瀬武次郎	田邊元	務臺理作	植田壽藏	野上俊夫	松本文三郎	深田康算	藤井健治郎	小西重直	澤村專太郎	寶嚴方夫	

うに考へ得られないであらうか。

されれ周なる用意、透徹せる理會に加ふるに豊富なる語學力のもとに全卷左の一例に見るごとき原意を傳へつゝも譯書に有り勝の拮据晦澁の迹を絶ち讀者をして文字より受くる制約の苦痛を感ぜしめざる譯文は、附録として添へられたる興味ある年譜をももに、哲學者として多くの反對を孤獨との裡にありつゝも尙「自身身の満足のためには私は王冠を戴くよりも寧ろ己が時間の主となりたい」(四三〇頁附録年譜)を叫びつゝ、讀書を思索に沈潜したごといふ百五十年前の原著者の思想をば、羅如として表現するに遺憾なきものであり、學士の所期の略々達成せられたごことを確信するご同時に此難事業が索引道具として完全に我思想界に提供せられたごことに對し、繰り返し自分は衷心より感謝し多とするものである。

Precjudices and errors of sense do from all parts discover themselves to our view: and, advancing to correct these by reason, we are insensibly drawn into uncooth paradoxes, difficulties, and inconsistencies which multiply and grow upon us as we advance in speculation, till at length, having wandered through many intricate mazes, we find ourselves just where we were, or which is worse, sit down in a forelorn Scepticism.

(右譯文)偏見や感官の誤謬が四方八方から私共の眼前に現れるごとして此れ等の偏見や誤謬を理性の力で訂正しようご努力するや私共は、知らず識らず、奇怪な道理や困難や悖理は、私共が思辨

を進めて行くにつれ愈々増大生長して私共に迫り、ミヤのつまり、私共は多くの込み入つた迷路を彷徨した上旬の果に、自分が依然として異下の舊阿蒙であるのを發見する。否そのみかは、更に悪くなつては、敢ふに適なき懷疑論の中に陥つて了ふ。(譯書七一頁)東京、大村書店發行。(河潮憲次)

寄贈書籍雜誌

宗教哲學の主要問題

エルンスト・トレルチ著 東京
野 勝 也 譯 大村 書店

哲學とは何ぞや

ウインデルバント著 同
出 隆 譯 同

科學的理想實現新法

河本金十郎著 東京 自在社

哲學雜誌

丁酉倫理講演集

心理研究 六合雜誌 文化運動

佛教大學通信講義

學校教育 内外教育評論 教育學衛界 教育

教育研究

教育時論 東京教育 静岡教育 岐阜教育 三重

教育

長崎縣教育 鹿児島教育 山形縣教育 日華公論 佛教學

雜誌

前 號 目 次

喜劇と妄想(承前).....	醫學博士	今村	新吉
認識主觀の問題(承前).....	文學博士	田邊	元
意志の本質.....	文學士	大脇	義一
カントとシュライエルマツヘル.....	文學士	勝部	謙造
バウル・ナトルフ「ベスタロツチの理想主義」一九一九年を讀む.....	文學士	長田	新
ナン氏の教育説.....	文學士	伊藤	猷典

會

告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
 文學部内 振替口座大阪參〇六六叁番

價定

廣告料

冊	冊	冊	冊	冊	冊
一	六	十	一	一	一
冊	冊	冊	冊	冊	冊
金四拾錢	金貳圓貳拾錢	金四圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢
不	不	不	不	不	不
申	申	申	申	申	申
壹	壹	壹	壹	壹	壹
錢	錢	錢	錢	錢	錢
稅	稅	稅	稅	稅	稅

註文規

●會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内
 外出版株式會社へ御申込下され度候
 ●本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さる
 べく候
 ●振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番)内外出版
 株式會社宛に願上候
 ●前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに
 付直に御拂込下され度候
 ●見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候
 ●特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下
 され度候

大正十年二月二十七日印刷納本
 大正十年三月一日發行

第六十號 第六卷 第三册

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内
 京都哲學會
 右代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛
 印刷者 須磨勘兵衛
 印刷所 京都府北小路通新町西入

發行所

京都市下京區
 北小路新町西

内外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五番

發賣元

京都市下京區北小路通新町西
 十番地内外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 上田屋、(大阪) 盛文館、三文社
 (神戸) 寶文館、川瀬書店
 (京都) 共盛社

佛教大學教授 梅原眞隆先生著

第三版

淨土眞宗

四六判總絹表裝
紙數二六〇餘頁
天金美本函入
定價壹圓八拾錢
送料拾貳錢

內容

- △眞宗篇……………絕對是認……………無義爲礙……………自然法爾
- △本尊篇……………眞佛解放……………立報即行……………佛格開展
- △祖師篇……………凡夫直入……………黑衣象徴……………愚禿體験
- △仰信篇……………南無歸命……………恭敬隨順……………他力廻向
- △生活篇……………體験基調……………無碍道味……………功德莊嚴

親鸞聖人によりて、眞宗の大道は開闢せられたり、淨土眞宗これなり、淨土眞宗に歸するもの
 すでに夥しく、親鸞聖人を慕ふものも愈多からんとす、こゝに於てか適切に眞宗の精要を領解せ
 しめる近代的指針なかるべからず、かくて本書は公刊せられたり、本書收むるところ五篇、第
 一の眞宗篇は淨土眞宗の本質を的示し、第二の本尊篇は阿彌陀を讚嘆しつゝ、救済の佛力を仰ぎ、
 第三の祖師篇は愚禿親鸞に直參して凡人の救済を慶ぶ、第四の仰信篇は佛凡一體の妙諦にふれ、
 第五の生活篇は現實隨順の開展を示す。全卷すべて體験の表白にして、洗練せられし表現と意
 味ふかき釋明はまさに現代の要求を充たすべく、修道者の心絃に共鳴すべし。

發賣所

- 【市内各書林】 ●丸善本支店 ●東京 有斐閣、東京堂、東海堂、森江書店、
 ●名古屋 川瀬書店 ●大阪 盛文館、福音社、●神戸 川瀬日進堂 寶文館

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十年二月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

振替口座内阪
三五九二三

内外出版株式會社發兌

京都下市都京
北條七通町新

所張出京東社本 地番十町賀加區橋京市京東